

科目名 Course Name	認知症の理解Ⅱ Understanding Dementia II	ナンバリング No.	J4-007				
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	吉田 志保						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP1, DP2, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>認知症の理解Ⅰで学んだ医学的知識をもとに、非薬物療法の学習等を行う。認知症がある人の心理・行動の特徴を理解し、本人および家族への支援を考える。</p> <p>①認知症がある人にとっての望ましい環境を、考えることができるようにする。          ②認知症の非薬物療法の種類を列挙し、具体的な方法が説明できるようにする。          ③非薬物療法が、認知症高齢者の QOL 向上に効果があることを、体感できるようにする。          ④認知症がある人を介護する家族のストレスの原因や、対処方法を説明できるようにする。</p>						
授業の方法	認知症の理解Ⅱでは、認知症の理解Ⅰで学んだ基礎的知識をもとに、様々な行動に対応し、尊厳を重視した介護を行うための基礎的能力を養う。講義、演習、グループ学習やディスカッションを通して認知症介護への理解を深める。また、認知症の理解Ⅰに引き続き、認知症に関連するトピックスを選び、概要と感想をプレゼンテーションすることを課題とする。						
学習成果	L01						
	L02	認知症がある人への効果的な非薬物療法の種類と概要を、説明することができる。					
	L03	認知症がある人と家族に対する、尊厳を支えるサポート体制を、説明することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	「認知症の原因疾患」や「認知症に関するトピックス」の発表後は、必ず補足をし、発表に対する感想を述べ、全学生にフィードバックする。						
教科書/参考図書	最新・介護福祉士養成講座 第13巻 認知症の理解 中央法規出版(認知症の理解Ⅰと共用)						
履修上の留意点やルール等	授業・グループ学習・ディスカッションには積極的に参加し、学びを共有してほしい。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で評価する。授業の準備が整い、講義は集中して必要なことをノートに取り、疑問点は質問して解決できること。グループ学習時は協力して課題に取り組み、意見交換により課題を深く追求すること。		10		
レポート/作品					
発表	①非薬物療法の学習 ②オレンジカフェの企画発表で評価をする。評価基準 S は、創意にあふれ、誰にも分かりやすく工夫した発表であり、他者を惹きつけるものであること。		10	10	
小テスト					
試験	授業の振り返り、知識習得の確認のために試験を行う。問題は文章の正誤を判断するものや語群からの選択問題、穴埋め問題等。		20	40	
その他	認知症の非薬物療法の資料で評価する。評価基準 S は、課題を十分に理解しテーマを掘り下げて調査しており、分かりやすい資料を作成し期限厳守して提出すること。使用した文献や資料を明らかにしていること。		10		
<b>合計</b>			50	50	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法等の説明) 認知症がある方との関わりの振り返り(個人ワーク)
	事前・事後学習	実習や生活の中での認知症がある人とのかかわりを思い出し、認知症の理解 I で学んだことが役立った場面などを振り返り、プリントに記載する。
2	授業内容	障害をかかえて生きる事への支援 施策
	事前・事後学習	現在までに行われている認知症の施策を年代ごとに整理してノートに記載する。
3	授業内容	在宅環境 グループホーム、宅老所について(視聴覚教材の視聴) 施設環境について【グループディスカッション・発表】
	事前・事後学習	託老所、グループホームの成り立ち、沿革等を調べノートに記載する。
4	授業内容	認知症ケアの実際 パーソン・センタード・ケア
	事前・事後学習	パーソン・センタード・ケアの5つの心理的ニーズをノートに転記して、説明できるように意味を調べ記載する。
5	授業内容	認知症の非薬物療法① 調査学習 <資料提出日は授業中に指示する>
	事前・事後学習	割り振られた非薬物療法について、図書館やネットで調べる。課題の内容を網羅できるように精査し整理して資料を作る。
6	授業内容	認知症の非薬物療法② 調査学習
	事前・事後学習	割り振られた非薬物療法について、図書館やネットで調べる。課題の内容を網羅できるように精査し整理して資料を作る。
7	授業内容	認知症の非薬物療法③ 調査学習のまとめ、ロールプレイの練習
	事前・事後学習	発表に向けて、ロールプレイの場面設定、登場人物、セリフ等を考え記載する。
8	授業内容	認知症の非薬物療法④ ロールプレイによる発表と補足【ロールプレイ・発表】
	事前・事後学習	前半の発表者の資料に補足事項を記載する。
9	授業内容	認知症の非薬物療法⑤ ロールプレイによる発表と補足【ロールプレイ・発表】
	事前・事後学習	後半の発表者の資料に補足事項を記載する。
10	授業内容	認知症の非薬物療法の実際(学外講師)【演習】 <体験後のレポート課題 提出は第11回>
	事前・事後学習	体験後の感想を記載する。
11	授業内容	認知症の人と家族への支援① 家族のストレス、家族へのレスパイトケア オレンジカフェのイベントを企画する【グループワーク】
	事前・事後学習	家族にとって認知症ケアでストレスになることを調べ、ノートに記載する。
12	授業内容	認知症の人と家族への支援②【視聴覚教材】認知症の基礎知識とケア 第5巻 人権の擁護と施設のリスク管理 認知症のある人に対する人権侵害の問題と対応【グループディスカッション・発表】
	事前・事後学習	視聴覚教材から家族にとって必要なケアを考え、ワークシートに記入する。
13	授業内容	認知症になっても安心して生活できる社会とは①ブレインストーミング・KJ法によるグループディスカッション【グループディスカッション】
	事前・事後学習	認知症になっても安心して生活できる社会について事前に5つ以上考えてくる。
14	授業内容	認知症になっても安心して生活できる社会とは② 発表・まとめ
	事前・事後学習	発表の内容を受け、認知症があっても安心して生活するためには何が必要か、学んだことをノートに記載する。
15	授業内容	授業のまとめ、国家試験対策
	事前・事後学習	試験対策で配布した資料をもとに、試験に向けた学習を行う。